

2025-2026冬



STOP 転倒！



～今年の冬は転倒0へ～



冬季は積雪や路面の凍結の影響により、転倒災害が多発します。
転倒災害防止の5か条をしっかりと守ることで、冬季の転倒災害
の発生を未然に防ぎましょう。

～転倒災害防止の5か条～

1 ポケットから手を出して歩こう！

スマホの使用など、ながら歩きは控えよう。



2 雪道や凍った道は小股で歩こう！

いつもどおり歩いていると滑ってしまうよ。



3 路面や床面に合った靴を履こう！

溝やピン、金具のある滑りにくい靴を選ぼう。



4 時間に余裕を持って行動しよう！

慌てていたり、急いでいたりすると不注意になるよ。



5 日頃から足腰を鍛えよう！

転ばない、転んでも怪我をしない身体をつくろう。



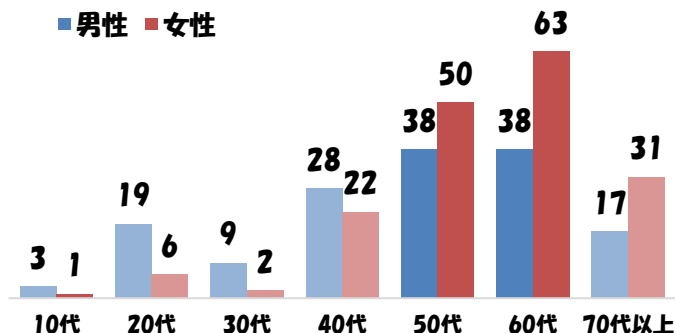
誰が、どこで、いつ、なぜ転ぶのか…？

【沼田労働基準監督署管内の転倒災害発生状況（H24年～R6年計）】

誰が

50歳以上の女性に多い！

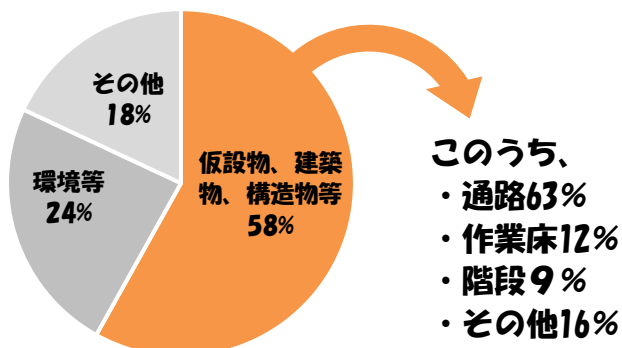
＜年齢別男女別件数＞



どこで

通路や床面が多い！

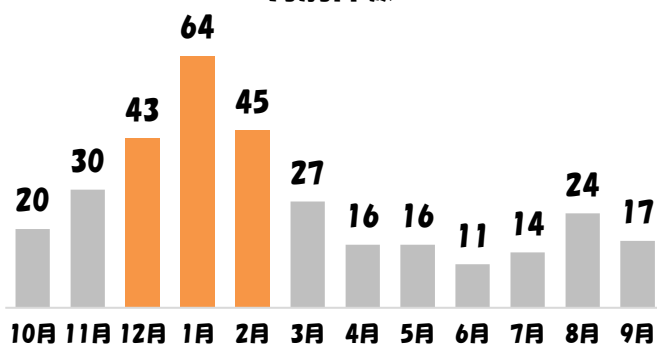
＜起因物別割合＞



いつ

12月～2月に急増！

＜月別件数＞

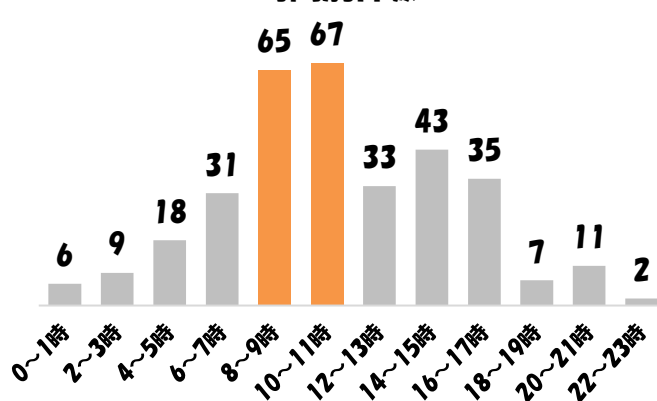


出典：労働者死傷病報告

いつ

出勤後の午前中に多い！

＜時間別件数＞



なぜ

ひとえに転倒と言っても、転倒にも種類があります。
それぞれ転倒の種類に応じた対策を考えましょう。

滑り

凍結した通路や積雪、油汚れ等により滑る。

つまずき

通路の凸凹や車止め、配線コードにつまづく。

踏み外し

階段などの段差で足を踏み外す。

もつれ等

身体能力の低下で足がもつれる、バランスを崩す。



転倒災害防止対策などの事例を
知りたい方はこちらをチェック！ →
「SAFEコンソーシアム」

← ヒートマットで凍結防止！

